

科目区分	専門教育科目	科目名	障がい児保育		科目コード	50307	担当者	島田幸一郎	
対象学生	幼児教育学科2年生		学期区分	通年	単位数	2	卒業要件	選択	
							免許・資格要件	保育士資格必修	
科目の主題							成績評価の方法と割合		
障がい児保育の意義と理念を理解し、発達段階に応じた支援と連携の大切さを理解する。							定期試験 (70%) 提出物 (20%) 受講態度 (10%)		
科目の到達目標							教育目標に基づく学修成果の到達目標		
							誠実な人柄と人間力 (尽心)	高度な知性と創造力 (創造)	明確な意志と実践力 (実践)
1.	発達段階・各種障がいに応じた個々への指導・配慮の大切さを知る。					○	○		
2.	各種障がい、発達障がい (広汎性発達障がい・ADHD・LD) の特性と支援・配慮の内容を理解する。						○	○	
3.	障がい児保育計画を課題設定・実践・評価などの視点で計画し実践する大切さを知る。						○	○	
4.	保護者、関係機関、地域等との連携・協働により、保育活動をすすめることの大切さを知る。					○		○	
授業方法									
講義を基本とするが、障がいの理解に関しては映像の視聴や関係者による講話などの機会を設け、より具体的な理解に努めたい。また指導法については、個人やグループで計画・実践する構成も取り入れたい。									
準備学修 (予習、復習等に必要時間または具体的な学修内容)									
「障がい者の権利条約」批准に伴い、障がいのある子どもを取り巻く社会環境が大きく変化してきている。日頃から、保育・教育・福祉等にかかわる施策の動向に留意してほしい。									
授業計画									
第1回	オリエンテーション				第16回	障がい児の理解 (脳性まひ)			
第2回	障がいのある子どもの理解				第17回	障がい児の理解 (視覚障がい)			
第3回	障がい児保育の理念と形態				第18回	障がい児の理解 (聴覚障がい)			
第4回	障がい児保育の現状と課題				第19回	障がい児の理解 (てんかん)			
第5回	障がい児保育の歩み				第20回	障がいのある子どもの保育の方法 (I)			
第6回	発達の理解 (I)				第21回	障がいのある子どもの保育の方法 (II)			
第7回	発達の理解 (II)				第22回	障がいのある子どもの保育の方法 (III)			
第8回	障がいの原因的な理解				第23回	障がい児保育の計画 (I)			
第9回	障がい児の理解 (知的障がい)				第24回	障がい児保育の計画 (II)			
第10回	障がい児の理解 (身体障がい)				第25回	障がい児保育の実践と評価 (I)			
第11回	障がい児の理解 (広汎性発達障がい)				第26回	障がい児保育の実践と評価 (II)			
第12回	障がい児の理解 (ADHD・LD)				第27回	障がい児保育の実践と評価 (III)			
第13回	障がい児の理解 (コミュニケーション障がい)				第28回	障がいのある子どもの保護者支援 (I)			
第14回	気になる子どもの理解				第29回	障がいのある子どもの保護者支援 (II)			
第15回	障がい児保育の指導				第30回	障がい児保育の意義 (まとめ)			
教科書・参考書					受講生へのメッセージ				
『新・障害のある子どもの保育』 伊藤健次 編 (株)みらい					障がい児保育にあたっては、障がいについての基本的な理解はもちろんだが、保護者や関係機関等と積極的に連携し、その子の実態に沿った指導・支援に計画的に取り組むことが求められる。しっかり学んで、「一人ひとりを大事にする」信頼される保育士を目指してください。				